±Û Û4Š7C“ $S7T F÷ FÿèWþ%Ê'2G" /œFÔGé F¹
本
研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。
研究期間： (2022 年 11 月 8 日) ～2023 年 12 月 31 日

〔研究課題〕
膵臓切除術後膵液漏 (POPF) の予測因子として栄養指標が有効であるかの検討
〔研究目的〕
膵臓切除術後に腹腔内に消化酵素である膵液が漏れること(膵液漏)は致命的な合併症を引き起こす可能性
があります。合併症を予防するためにも手術前から膵液漏のリスクを予測することは大事であり、術前の栄養
状態がリスク因子の一つとなることが予想されるが、明らかでないので検討することを目的とします。
〔研究意義〕
低栄養状態の症例の膵液漏発生率が高ければ術前栄養評価が重要となり、栄養介入により栄養状態を高め
ることで術後経過が良好になることが期待されます。
〔対象・研究方法〕
2010 年 4 月から 2021 年 6 月までに施行した膵頭十二指腸切除術２５０例と膵体尾部切除術１３０例を対象と
します。これらに対しては、診療録に記載された過去のデータをふりかえる研究(後ろ向き研究)が非常に有効
な手法として盛んに行われています。本研究の解析で得られた知見を学会・論文を通じて医療レベル全体の
向上を図るとともに、今後診療を受けて頂く症例に良質な医療を提供するための資料として活躍することで更
なる治療成績の向上や有害事象の発生低下を目指します。
〔研究機関名〕
帝京大学医学部 肝胆膵・移植外科学講座
〔個人情報の取り扱い〕
研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付けて個人を特定できないように加工することで、対象者の秘密
保護に十分配慮します。患者情報は研究終了後、帝京大学臨床研究センターで 10 年間保管後に破棄します。
対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてよ
り詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
ご協力よろしくお願い申し上げます。

研究責任者：氏名 三澤 健之 職名 帝京大学医学部外科学講座教授
研究分担者：氏名 渡邉 理 職名 帝京大学大学院医学研究科 大学院生
所属： 帝京大学医学部外科学講座
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1
 TEL： 03-3964-1211（代表） 〔内線 33714〕